

西岡水源池

突然ですが質問です。

一九七三年一月八日（土曜）は何の日？
邦暦で言うところと昭和四八年です。この年に
誕生した赤ちゃんが今年で四八歳を迎え
てしまう、そんな昔のお話です。

それは、札幌大学、ロシア語研究会主催
の第二回ロシア語劇「どん底」の初演の
日です。

この当時、体育一単位の履修不足で、体
育教師に呪いをかけられた五年目の四年
生であった私は、既に社会人として巣立っ
てしまったため、同級生が一人もいない
キャンパスで無為な生活を送ってしまし
た。そんな中で露研の活動だけは怠惰で
自棄的な自分の生き方に対する、せめて
もの償いという思いからか、何故か力が

入ったものです……。

文集「水源地」の由来は「西岡水源池」
であろうと、と推察します。いまや西岡
水源池はパワースポットとして一部の愛
好家にとっては有名な場所らしいのです
が、札幌生まれ、札幌育ちの私にとつても、
子供のころの「西岡」は遠い果てのよう
な存在でした。西岡や月寒はおろか、そ
もそも豊平町が札幌市に合併したのが一
九六一年、私が一一歳の年です。北一四
条東一丁目に生まれ育った、子供時代の
私にとって豊平川の向こうは自分の生活
圏から外れた、ずいぶんと遠い地域に思
えたものです。

そんな西岡の地に、とりわけ水源池に思



美水 正一
よしみず しょういち

いを寄せていただく同窓の方々がいることが、又、その中の多くの方々が札幌以外の出身者であることが、私には驚きであり感激であります。

そうして、何より、当時の、細くて短いつなかりを忘れずに、私のようなクラスメートでもない、二、三年違いの、ごく近しい先輩とも違う、規格の外れた者に「水源地」への投稿を呼びかけていただいたことがうれしいです。

北一四条東一丁目の自宅から、石狩街道を南下し、三六号線を西に自転車を走らせて登校したこともありました。自宅からは結構な道のりでした。私の家も、その後北三四条東一七丁目に引っ越ししました。今や（と言ってももうずいぶん前のことになるのですが）東豊線の開業で月寒あたりまでのアクセスは随分改善された様です。

あの頃のホップ園や水源地境界はずいぶん変わったのでしょうか？ 当時、札大で教鞭をとっていたいただいた菱沼先生、千葉先生、新田先生、深水先生、貝沼先生、藤井先生・・・当時の懐かしい諸先生は皆さま永眠しておられます。

今一度、皆様が元気な内に、この時代に戻って、西岡の地で、ジンギスカン鍋を囲んでいっぱいやりたいですね。

